

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2005-41875 (P2005-41875A)

【公開日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報 2005-007

【出願番号】特願 2004-214382 (P2004-214382)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/40

A 6 1 K 31/401

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/41

A 6 1 K 31/4422

A 6 1 K 31/472

A 6 1 K 31/4965

A 6 1 K 31/517

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 45/08

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/12

【F I】

A 6 1 K 31/40

A 6 1 K 31/401

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/41

A 6 1 K 31/4422

A 6 1 K 31/472

A 6 1 K 31/4965

A 6 1 K 31/517

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 45/08

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/12

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- a . 一定量のアトルバスタチン又はその医薬として許容できる塩 ;
- b . 一定量の A C E 阻害剤又はその医薬として許容できる塩 ; 及び
- c . 医薬として許容できるキャリア又は希釈剤

を含む、医薬組成物。

**【請求項 2】**

a. 一定量の ACE 阻害剤又はその医薬として許容できる塩、及び医薬として許容できるキャリア又は希釈剤；及び

b. 一定量のアトルバスタチン又はその医薬として許容できる塩、及び医薬として許容できるキャリア又は希釈剤；

を含み、狭心症、アテローム硬化症、または高血圧と高脂血症との組み合わせの処置、または心臓リスク管理における、同時の、別々の、又は連続の使用のための組み合わせ製剤である医薬製剤。

**【請求項 3】**

アトルバスタチンのヘミカルシウム塩を含む、請求項 1 又は 2 に記載の医薬組成物または製剤。

**【請求項 4】**

前記 ACE 阻害剤が、ベナゼプリル、カプトプリル、エナラプリル、ホシノプリル、リシノプリル、ペリンドプリル、キナプリル、ラミプリル若しくはトランドラプリル、又はこれらの医薬として許容できる塩である、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物又は製剤。

**【請求項 5】**

前記 ACE 阻害剤がラミプリル、又はその医薬として許容できる塩である、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物又は製剤。

**【請求項 6】**

狭心症、アテローム硬化症、若しくは高血圧と高脂血症との組み合わせの処置、または心臓リスク管理のための医薬の製造における、

(a) アトルバスタチン又はその医薬として許容できる塩である第 1 化合物；

(b) ACE 阻害剤又はその医薬として許容できる塩である第 2 化合物

の使用。

**【請求項 7】**

前記第 1 及び第 2 化合物が単一の医薬剤形に組み合わされている、請求項 6 に記載の使用。

**【請求項 8】**

前記第 1 及び第 2 化合物が別々の剤形にあり、同時の、または連続の投与に適用される請求項 6 に記載の使用。

**【請求項 9】**

第 2 化合物が、ベナゼプリル、カプトプリル、エナラプリル、ホシノプリル、リシノプリル、ペリンドプリル、キナプリル、ラミプリル若しくはトランドラプリル、又はこれらの医薬として許容できる塩である、請求項 6～8 のいずれか 1 項に記載の使用。

**【請求項 10】**

第 2 化合物がラミプリル、又はその医薬として許容できる塩である、請求項 6～8 のいずれか 1 項に記載の使用。

**【請求項 11】**

哺乳動物において治療効果を得るためのキットであって、

a. 第 1 単位剤形中の、一定量のアトルバスタチン又は医薬として許容できる塩、及び医薬として許容できるキャリア又は希釈剤；

b. 第 2 単位剤形中の、一定量の ACE 阻害剤又は医薬として許容できる塩、及び医薬として許容できるキャリア又は希釈剤；及び

c. 前記第 1 剤形と第 2 剤形を含有するための容器手段を含む、前記キット。

**【請求項 12】**

狭心症、アテローム硬化症、または高血圧と高脂血症との組み合わせの処置、または心臓リスク管理のための医薬の製造における、請求項 11 に記載のキットの使用。

**【請求項 13】**

前記 A C E 阻害剤がラミプリル、又はその医薬として許容できる塩である、請求項 1 1 に記載のキットの使用。